

県民の要求実現へ



福岡市消防局へ聞き取り



県労連と懇談



民医連と保健医療介護部へ申し入れ



八女県土整備事務所へ聞き取り

2月議会一般質問

新型コロナ

医療提供体制の充実と病床削減の見直しを

高瀬菜穂子県議は、第8波における救急搬送困難事案が過去最高になり、消防署に留め置きになった例も示し、医療提供体制について認識をただしました。知事は、「第8波の病院使用率のピークは、第7波とほぼ同レベル」と危機感のない答弁。さらに、新たな感染症を想定すれば、許可病床を7,000床減らす「地域医療構想」の計画は見直し、これ以上病床を削減すべきではないと迫りましたが、知事は引き続き推進していく姿勢を示しました。

下北道路建設は、きっぱり中止せよ

知事は、議案説明において「いわゆる下関北九州道路の早期整備に向けた取組をすすめる」と強調。高瀬菜穂子県議は、小倉東活断層をまたぐ危険な総工費3500億円の下関北九州道路について中止を迫りました。

共産党実施の県民アンケートでも、賛成10%に対し、反対63.2%との結果を示し、見直すべきだと求めましたが、知事は、「九州と本州とを結ぶ必要不可欠な道路である」と強弁しました。

困難女性支援法にもとづき、十分な支援を

立川由美県議は昨年5月に成立した「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」の県内での具体化と対策について知事をただしました。この法律は、これまでの根拠法であった「売春防止法」から、女性の人権擁護や福祉の向上を重視した法律に転換するもので、「婦人相談員」は「女性支援相談員」に変更となります。その資質向上に向けた県の取り組みについて知事は「新たな役割も踏まえ、研修内容を見直し、実施する」と答弁。また、一時保護を受ける女性が、DV被害者など居所の秘匿が必要な女性と同様に扱われ、携帯電話やインターネットの使用が制限される問題について、改善を求めたのに対し、知事は、「一時保護については運用の検討をする」と答弁しました。

有明海再生は潮受け堤防の開門で

立川由美県議は、近年、佐賀県西部で大問題となっていた赤潮によるノリの色落ちが、昨年秋から今年初めにかけて、福岡県でも起こり、歴史的ともいえる大不作になったと深刻な現状を訴えました。20年間、有明海の研究をされた、熊本県立大学の堤裕昭教授がおこなった潮流と諫早湾排水門閉め切りの関連についての研究結果を示して、有明海再生には改めて開門が必要だと訴えました。知事は開門について見解を示しませんでした。



高瀬 菜穂子
議員



立川 由美
議員

福岡県議会議員選挙の結果について

2023年4月の福岡県議会議員選挙で、日本共産党は小倉南区と福岡市東区で確保していた県議の議席を失い、県議空白となりました。県議選・宗像市選挙区では、日本共産党が支持した無所属の福地幸子さんが当選しました。ご支持をいただいた有権者の皆さまに心からの感謝を申し上げます。寄せられたご支持を議席確保に十分に結びつけられなかったことについて、おわびいたします。高瀬菜穂子、立川由美は勇退します。立場は変わっても、これからも県民の暮らしを大切に活動をしていきます。日本共産党福岡県議会議員団へのご支援ありがとうございました。

高瀬菜穂子



立川由美



予算特別委員会の論戦は中面をご覧ください

総額2兆2700億円 過去最大の一般会計予算 さらなる物価高騰対策や子育て支援を最優先に



「住民福祉の増進」を本旨とする行政を求め反対討論

2023年度一般会計当初予算は、「福岡県総合計画案」「福岡県財政改革プラン2022」等を踏まえて編成され、総額は2兆2772億円となりました。総額は6年連続の増となり、4年続いて過去最大を更新しました。

予算の枠組みは基本的に国にならったものとなっており、県の財政改革プランに沿って、社会保障の抑制を行うものとなっています。不要不急の下関北九州道路や都市高速道路福岡高速3号線の延伸、すでに350億円をつぎ込んだ筑後広域公園に10億円、さらに総工費740億円もかけてダム群連携事業も国と一体に進める一方、河川の浚渫など身近な公共事業である県単事業には2%のシーリングをかけており、県民の強い要望である県営住宅の増設や整備は、基本的に家賃収入の範囲でしか進められていないと述べ、真に「住民の福祉の増進」を本旨とする行政を求めると反対討論を行いました。

●意見書の採決結果 日本共産党福岡県議団は、子どもたちの健やかな育ちのための保育の充実と保育士の処遇改善にもつながる「保育士配置基準改善を求める意見書」案を提出しました。

意見書の件名	日本共産党	自民	民主県政ク	緑友	公明
保育士配置基準改善を求める意見書案 (日本共産党提案)	○	×	×	×	×
防災・減災、国土強靱化のさらなる推進を求める意見書案 (自民提案) 4党派共同	○	○	○	○	○
地域公共交通支援への強化を求める意見書案 (民主県政クラブ提案) 5党派共同	○	○	○	○	○
農林水産物・食品のさらなる輸出拡大を求める意見書案 (緑友会提案) 4党派共同	×	○	○	○	○
認知症の人も家族も安心な社会の構築を求める意見書案 (公明提案) 4党派共同	○	○	○	○	○

※「農林水産物・食品のさらなる輸出拡大を求める意見書」については、農業基準緩和の内容が含まれていたため、反対しました。

くらしを直接支える県政へ転換を!

